

本務校	津久見市立青江小学校	兼務校	市内3小学校	指導する主な教科	国語・算数	指導する教員数 (本務校・兼務校)	計 11名程度
-----	------------	-----	--------	----------	-------	----------------------	---------

「単元」を通じた巡回指導日程 (2学期分)

月	週	学校	教科	指導する単元 (学年)
9月	1週～4週	4校への巡回指導を実施		
10月	1週～2週	堅徳小	算数	比例と反比例 (6年)
	3週～4週	青江小	算数	たし算 (1年)
1週	かけ算 (2年)			
11月	2週～3週	千怒小	算数	単位量あたりの大きさ (5年)
	4週	4校への巡回指導を実施		
12月	1週～3週	津久見小	国語	やなせたかし (5年)
		津久見小	算数	割合とグラフ (5年)

各先生方の課題に応じたきめ細かな指導

ADの指導板書

授業者の板書を基に事後指導を実施

**「授業づくり通信」の発行
(市内全小学校教員へ配布)**

今日の授業を整理し、「課題」をこのように提示すると問題解決的な展開になり、授業が深まるね。

結合法則に関する授業案(2年)

2年生の「3つの数のたし算(たし算のきまり)」に係る授業案を以下のように考えてみました。

〇めあて:「3つの数のたし算のきまりを見つけよう。」

- ・たし算のきまりについて既習事項を想起し、たし算はたす順序を入れ替えても答えは同じになるきまり(交換法則)があることを確認する。

〇問題の確認と解決の見通し

- ・問題:「トマトはぜんぶで何こあるでしょうか。」
- ・確認式: $15+6+4$
- はじめに15こあった、男子の子が6こ、女子の子が4こもつてきた。
- ・見通し:問題場面を考えて、たし算の順序を考えて計算するといふ。
- ア 男子の子のトマト、女子の子のトマトの順にたす。
- イ 男子の子と女子の子のトマトがちょうど10こになる。

〇課題:「3つの数のたし算は、どんな順序で計算すればよいかな。」

〇自力解決・発表・交流

- ア 持ってきた順にたす。 $15+6=21$ $21+4=25$ 答え 25こ
- イ 男子の子と女子の子のトマトをまとめてたす。 $6+4=10$ $15+10=25$ 答え 25こ
- $15+6+4$ は、前から順にたしても後をまとめてたしても答えは同じになる。
- () を使って、たす順序を確認する。
- $15+(6+4) = 15+(10) = 25$ *まとめたすときは、() を使って式を書く。 *丸数字は計算順序を示す。

〇深める問い:「まとめたす良さはあるかな。」→10のたし算が計算しやすい。

〇まとめ:「3つの数のたし算は、順番に前からたしても後をまとめてたしても答えは同じになる。ただし、先に計算するところは、() をつける。(式をやくそく) (たし算のきまり)」

〇たしかめ→教科書の練習問題をやる。

〇振り返り一例) 3つの数のたし算にきまりがあることがわかった。これからは、きまりを利用して工夫して計算したいと思った。

③若手教員による授業

➢ 公開授業と兼ねる場合も



②授業観察・授業支援 TT指導の実施



④次の学校へ



単元を通して授業をつくる力を身に付けてほしいので、この指導方法は大変ありがたいです。

①単元づくり 教材研究への指導



授業力向上 若手教員
アドバイザー (8年未満)